

わたしたちが運ぶのは未来です

運輸省

みなと しみず

発行所

第五港湾建設局
清水港湾工事事務所
御前崎港事務所
下田港事務所



パネルディスカッション
左から 酒匂氏・井熊氏・渡辺氏・善見氏・近江氏・下村氏



基調講演の
竹内長銀理事長



挨拶する
楠田相良町長



庄田副知事



黒田五建局長

**御前崎港シンポジウム開催される
関係者約500名が参加**

去る7月24日、静岡県御前崎町の町文化会館において、御前崎港シンポジウムが開催されました。本シンポジウムは「海の日」記念事業として、御前崎町・相良町が主催し、運輸省第五港湾建設局・静岡県・静岡新聞社等の後援により開催されたもので、「港づくり・地域づくりを考える」をテーマに議論が行われました。

御前崎港は、静岡県中西部を背後圏とする物流拠点港として整備が進められており、平成9年3月には県内最大級の多目的国際ターミナルに着工したところです。一方東名高速等とを結ぶ高規格道路の整備や、静岡空港の建設計画も進められています。本シンポジウムは、港の現状・課題を明らかにしたうえで、御前崎港の港づくりや利活用方策、港を核とした地域づくりについて議論し提言を得るために開かれたものです。

まず、主催者を代表し、楠田相良町長の挨拶があり、黒田運輸省第五港湾建設局長及び庄田静岡県副知事の挨拶の

後、長銀総合研究所 竹内宏理事長による「発展する静岡県経済と港」と題した基調講演が行われました。

竹内氏は、港の整備も大切であるが、それと同時に背後地の整備が不可欠であり、陸・海・空のネットワークなしには発展が望めないこと。そのためには、地価の抑制・ハイテク技術者や研究者が集まる環境づくり・人づくりのための教育環境の整備等が大切であり、御前崎港はその可能性がある地域と述べられました。

続いて、東海大学海洋学部 長・酒匂敏次教授をコーディネーターとして、パネラー4名（井熊浜松商工会議所副会長、渡邊静岡総合研究機構専務理事、善見運輸省清水港湾工事事務所長、近江静岡県御前崎港管理事務所長、下村御前崎町長）によるパネルディスカッションが行われました。

ディスカッションでは、各パネラーから港湾整備計画やアクセス道路計画の内容のほか、これらについては運輸省・建設省の国際交流インフラ推

御前崎港シンポジウム 満席の会場



進事業に認定されたことなど、港づくり・地域づくりの現状・課題についての報告がなされました。また、井熊氏から国際級のコンテナターミナルを御前崎港にできるだけ早く欲しいとの県西部経済界の要望が出されました。最後に下村御前崎町長による決意表明文が読み上げられました。約500名の参加者は、最後まで熱心に耳を傾けており、会場から質問もでるなど御前崎港への関心の深さが感じられたシンポジウムでありました。

永年勤続職員表彰及び五建職員表彰行われる

毎年6月1日の運輸省設置記念日において、標記表彰が行われています。今年も、6月1日が日曜日のことから、6月2日に永年勤続表彰は名古屋市の熱田神宮会館1階の「春敵の間」にて、五建職員表彰は第五港湾建設局会議室にて取り行われました。

当清水港湾工事事務所からは、永年勤続表彰として30年勤続の安田幸博工務課長と、20年勤続の山田誠第一工務係長が、また、五建職員表彰としては、平成7年1月の阪神淡路大震災の教訓を受けて、清水港湾工事事務所としての「防災マニュアル」を作成した防災検討委員会と、下田港の「消波ブロック内蔵双胴型ケーソン第1函目の制作から据付」実施グループが受賞しました。

第五港湾建設局 港湾関係功労者表彰

七月二十二日清水マリニビル大ホールにおいて平成九年海事関係功労者等表彰式が開催され、来賓、被表彰者及び

関係者数百人が列席する中、運輸省関係の表彰と海の画コンクールの表彰が行われました。第五港湾建設局長表彰は次の九名の方々で、善見政和清水港湾工事事務所長から伝達されました。

・港湾功労者（感謝状）

東海大学短期大学部助教 東 恵子氏

・港湾功労者（表彰状）

鈴与建設(株)常務取締役 営業第一部長 萩原由朗氏

大石建設(株)専務取締役 大石卯吉氏

東海潜水工業(株)代表取締役 星野善也氏

下田港防波堤（D区） 本体工事現場代理人

五洋建設(株) 吉川一好氏

同工事専任主任技術者 五洋建設(株) 徳丸正博氏

若築建設(株) 鬼塚康隆氏

りんかい建設(株) 後藤喜代一氏

海をきれいにするための 一般協力者（表彰状）

富士市 掛橋三朗氏



善見所長から表彰状が渡される富士市の掛橋三朗氏

黒船祭

5月、下田湾の海は蒼く、湾をそと抱え込む周囲の山々は鮮やかな新緑で覆われ、やわらかな風、そしてここ下田は黒船祭の季節。（注意…地元では黒船祭とは言わない）下田の一番良い季節に開催されるこの黒船祭は今年も5月16日から18日の3日間盛大に開催されました。黒船来航と開国を記念して催される、下田を代表する黒船祭も、今年で第58回目を迎えました。今年、米国から米第7艦隊フリーゲート艦「サッチ号」、自衛艦「によど」「てしお」、帆船「海星」と今年から就航する県防災船「希望（TSL）」が入港するなど海と陸一体のイベントが企画され、開港80周年を記念して開催された第1回目の黒船祭（昭和9年・1934）とは、開催時期、イベント内容もずいぶん様変わりしたようです。

しかし、地元市民の祭りに対する気持ちは昔と変わり無く受け継がれているようです。変わったもの一つに、黒船祭に花を添えていた「ミス黒船」があります。昨年までは、黒船祭の前夜祭として開催していた「ミス黒船コンテスト」にかわって、今年からは、下田観光PR嬢の「下田フラワーマッション（花の下田の使節団）」として下田在住の美しい5人のお嬢さん達が今回の黒船祭でデビューしました。16日には、日米イカダ乗り競漕、ペリーロードフェスティバルなどの開催、夜は花火大会が実施され大輪の花が夜空に描き出されました。17日は、黒船祭のメイン行事である黒船祭記念式典が開国記念碑のある下田公園で行われ、国内外の来賓並びに中

塚環境技術管理官(局長代理)、善見清水港湾工事事務所長及び同事務所小山田次長が列席するなか日米先賢の慰霊と国際平和が祈願されました。式典終了後は、下田公園から公式パレードに移り、オープンカーやハーレーのサイドカーに市長、来賓の方々、フラワーミッションが乗り、沿道からの多くの市民や観光客の声援に手を振って答えていました。今回の黒船祭のイベントとして「ベイサイドフェア」が下田港のメインバスである外ヶ岡岸壁で開催。テーマは「すべては海から始まった。そして：今」。私たちが整備する港湾整備の強い助っ人のようなイベント。その中で、7月から清水下田を1時間50分で結ぶTSL「希望」や帆船「海星」の体験乗船が人気の的となりました。

18日にはジャズフェスティバルなどが行われ、3日間下田の町は天候にも恵まれ日米親善の絆を深めた「第58回黒船祭」は関係者の努力により多くの市民、観光客を満足させて無事終了しました。

来年からの黒船祭開催日は、これまでの16、18日の日指定ではなく、多くの人にこの素

晴らしい黒船祭を体験・参加していただけるよう金、土、日に開催することになるそうです。来年は是非下田において下さい。一緒に体験して下さい。

「清水港みなとづくり見学会」開催

今年も「海の日」記念行事として、清水港湾工事事務所と静岡県海事広報協会の共同主催により「清水港みなとづくり見学会」が、去る7月28日に開催されました。

今年の学校は、清水市教育委員会の紹介により、清水市立岡小学校4年生の生徒59名及び、引率教諭4名の、計63名が対象となりました。

まず、静岡観光汽船の客船「ベイプロムナード」に乗船、清水港内の港湾施設等の説明を聞きながら、港内を一周し下船後は当工事事務所の三保ケーソン製作場にて御前崎港で使用する防波堤のケーソン製作工事を見学・学習しました。

当日は、あいにくの曇り空で雨も降りそうなことから、東海大学海洋科学博物館(水

族館)の中で昼食、その後水族館を見学し、バスにて帰路に着きました。

今回の小学校は、清水港とは目と鼻の先ほど近くの小学校ではありませんが、普段あまり船から港を見学する機会がないとのこと、生徒の皆さんは熱心に見学・学習していました。今回の見学会により、「みなと」について少しでも興味を持ってもらえれば幸いです。



御前崎港 事務所だより

◆「海の日」記念 港湾行政体験学習

7月17日、梅雨空の下時々太陽が照りつける中、御前崎地区の各港湾行政機関共同主催により「港湾行政体験学習」が開催されました。

体験学習参加者は、地元御前崎町・相良町にお住まいの女性20名が一般公募により決定され、はじめに、各行政機関から事務事業の概要説明の後、バスによる御前崎港内視察及び九州急行フェリー「むさし丸」の荷役現場視察が行われました。また、午後からは、各行政機関に5名ずつに分かれて、それぞれの職場にて事務及び事業を実地に体験学習しました。

我が運輸省御前崎港事務所へは、相良町から「原崎仁美さん」「西原久子さん」「富田道子さん」御前崎町から「小野田裕美さん」「大澤そめさん」の5名の方にお越し頂き、牛田所長の挨拶の後、事務及び事業の具体的な説明や工事の実施状況等図面・写真・パ

ンフレット等によりきめ細かな解説がなされ、その後当所監督測量船「ふじ」にて、港内見学及び、西防波堤の海底状況を水中カメラにて観察するなど体験学習の一日が終了しました。

参加者の方々は、これほどの工事がたった4名で実施されていることに驚かれると共に、東海地震の時の港の役割や避難の方法等の質問をするなど御前崎港を身近に感じている様子がありありと感じられました。また、工事の安全と御前崎港の更なる発展のため頑張ってほしいと話していました。

皆様たいへんありがとうございました。



監督測量船「ふじ」での記念撮影

◆ 山の子が御前崎港を見学

長野県木曾郡王滝村の王滝中学1年生21人が、御前崎町へ臨海学習に訪れ、地元御前崎中学1年生と共に御前崎港を見学されました。

見学会は、王滝中学・御前崎中学及び引率の先生20名程が、2班に分かれて1回50分程の船の旅を楽しみました。使われた船は当所監督測量船「ふじ」、初めはおとなしかった生徒も時が経つにつれて慣れ、船が大きく揺れると生徒から歓声が沸き立ち、生徒による自己紹介もその都度中断するなど、和やかな雰囲気の中、無事港内見学会が終了しました。



下田港 事務所だより

◆ ケーソン進水仮置終了

先日、昨年8月に着工し、約1年の月日を要して完成した2函目の消波ブロック内蔵双胴型ケーソンの進水・仮置作業が行われました。気象・海象等の影響から度重なる日程変更となり、当初計画から約2週間遅れの7月11日(金)13日(月)に無事一連の作業が終了しました。一函目と状況が変わったことは、定期船「あぜりあ丸」に加えて7月11日からTSL「希望」が清水・下田間に就航したため、入出港の時間帯は作業を一時中断する必要があり、1函目より約2時間程長く作業がかかりました。

1日目(FDの冲出し) 波は全くなかったのですが、明け方から霧が立ちこめたため、回復を待って作業開始を1時間程遅らせました。この時間に定期船の入出港による待ち時間と重なったため、全体としては予定通りの工程でFDを冲出しすることが出来ました。

2日目(ケーソン仮置) 天候は曇り、時折雨に見舞わ

れましたが、400t吊FCに吊られた双胴型ケーソンは、所定吃水で無事浮上し、東防波堤背後にある所定の仮置場に無事仮置を行いました。作業場所を通過する「あぜりあ丸」・TSL「希望」・港内遊覧船に乗船の人達が大型作業船による作業を興味深げに見ていました。

3日目(FD接岸) 最終日は天候にも恵まれ、東防波堤沖の進水場所に係留していたFDを作業基地前面の所定場所に予定通り接岸出来ました。

早く2函目を現地に据え付けたいのですが、予算の関係上1年近く仮置のままとなりそうです。据付が終了している1函目が沖で心なしか寂しそうです。



清水港への入港 客船・帆船案内

- につぼん丸(客船) 9月1日(予定) 北陸オータムクルーズ
- あこがれ(帆船) 10月23日~29日(予定) 駿河湾セイルトレイニング
- 海王丸(帆船) 10月24日~28日(予定) ウォーターフロントフェア
- につぼん丸(客船) 12月13日~14日(予定) クリスマスクルーズ
- 新さくら丸(客船) 12月27日(予定) 青年の船(出港) 1月7日(予定) 青年の船(帰港)
- ニューゆつとびあ(客船) 3月23日~24日(予定) 洋上テレビ寺子屋

| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|-----------|--------------|------------|------------|---------|---------|---------|---------------|-------|-------------|-----------|-----------|-----------|----------------|---------------------|---------------|---------------|------------|---------|--------------|--------------|---------------|---------------|-----------------|------------|------------|-------------|------------|-------------|------------------------|------|--------------|-----------|------------|-----------|-----------|--------------|---------------|
| 29 | 28 | 24 | 22 | 17 | 14 | 11 | 10 | 7 | 27 | 26 | 23 | 17 | 15 | 12 | 11 | 10 | 6 | 5 | 3 | 6 | 23 | 21 | 20 | 19 | 15 | 12 | 7 | 5 | | | | | | | | | |
| 清水港湾連絡協議会 | 清水港みなとづくり見学会 | 御前崎港シンポジウム | 御前崎港行政体験学習 | 御前崎港見学会 | 御前崎港見学会 | 御前崎港見学会 | TSL「希望」カーフェリー | 就航記念式 | 御前崎港安全対策協議会 | 御前崎港振興会総会 | 御前崎港振興会総会 | 御前崎港振興会総会 | 日本港湾建設協会静岡支部総会 | 港湾潜水業務・救急再圧と救急法セミナー | 御前崎シーサイド・ドリーム | 御前崎シーサイド・ドリーム | 田子の浦港振興会総会 | 期成同盟会総会 | TSL清水港基地港化促進 | みなと色彩計画推進協議会 | 清水港FAZ事業推進協議会 | 清水港FAZ事業推進協議会 | 御前崎港整備促進期成同盟会総会 | 清水市安全協議会総会 | 静岡県港湾振興会総会 | 清水港利用促進協会総会 | 清水港振興会定期総会 | 清水港利用促進協会総会 | 清水地区石油コンビナート等特別防災区域協議会 | 評議員会 | 清水港湾博物館定例理事会 | 清水港湾振興会総会 | 大井川港湾振興会総会 | 清水港湾協議会総会 | 清水港湾協議会総会 | 清水港100周年の会総会 | 国際交流インフラ推進協議会 |

発行所 清水港湾工事事務所 〒424 静岡県清水市日の出町七一三 Ⅱ(〇五四三)五二一四一四六代